



ダースバン乳剤40

農林水産省登録 第14129号

1/2

平成22年4月21日現在

適用病害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロルピリホスを含む農業の総使用回数
みかん (露地栽培)	ハマキムシ類 アブラムシ類	1500倍	200~700ℓ/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内
	ヤノネカイガラムシ若齢幼虫 コナカイガラムシ類 クワゴマダラヒトリ幼虫	1000倍					
	カミキリムシ類幼虫	100倍	20~70ℓ/10a			樹幹散布	
かんきつ (みかんを除く)	ハマキムシ類 アブラムシ類	1500倍	200~700ℓ/10a	収穫60日前まで	1回		1回
	ヤノネカイガラムシ若齢幼虫 コナカイガラムシ類 クワゴマダラヒトリ幼虫	1000倍					
ばれいしょ	アブラムシ類	1500倍	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
だいず	ハスモンヨトウ マメシンクイガ			収穫45日前まで			
てんさい	ヨトウムシ カメノコハムシ アブラムシ類			収穫21日前まで			
茶	チャノコカクモンハマキ チャハマキ	1000~1500倍	200~400ℓ/10a	摘菜14日前まで			
	クワシロカイガラムシ	1000倍	1000ℓ/10a				
たまねぎ	ネギアザミウマ	1000~1500倍	100~300ℓ/10a	収穫21日前まで			



アグロ カネショウ株式会社

<https://www.agrokanesho.co.jp/>



⚠ 効果・薬害等の注意



- 石灰硫黄合剤、ボルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさける。
- ヤノネカイガラムシに対しては発育が進むと効果が落ちるので若令幼虫期に散布する。
- だいずの新葉に散布した場合、変色等の薬害を生じるおそれがあるので注意する。
散布後の新たな展開葉には影響は認められない。
- かんきつに対し、施設内で使用すると薬害のおそれがあるので、施設内での散布はひかえる。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意する。
 - ①ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにする。
 - ②受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさける。
 - ③関係機関（都道府県の農薬指導部局や地域の農業団体等）に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農薬使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努める。
- 本剤は自動車などに散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないように注意する。

⚠ 安全使用上の注意



- 医薬用外劇物** 取扱いには十分注意する。
誤って飲み込んだ場合には、吐かせないで直ちに医師の手当を受けさせる。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受ける。
- 原液は眼に対して強い刺激性があるので、散布液調製時には保護眼鏡を着用して薬剤が眼に入らないよう注意する。
眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受ける。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意する。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とす。
- 散布の際は、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用する。
作業後は直ちに身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他の物とは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

治療法…硫酸アトロピン製剤の投与が有効（動物実験で報告）。

魚毒性等…水産動植物（魚類、甲殻類）に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼、海域及び養殖池に本剤が飛散、流入するおそれのある場所では使用しない。使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきる。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

保管…密栓し、火気をさげ、食品と区別して、直射日光のあたらない冷涼な所。カギをかける。盗難、紛失の際には警察に届け出る。

- PRTR法**
- 火災時は、適切な保護具を着用し水・消火剤等で消火に努める。
 - 漏出時は、適切な保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。
 - 移送取扱いは、ていねいに行う。

